

国立スポーツ科学センター（JISS） オプトアウトにより実施する研究

研究課題名	球技系競技におけるゲームパフォーマンスとコンディションの関係
倫理審査委員会承認番号	2021-006
研究開始日	2021年7月8日
研究終了日	2022年3月31日
研究目的	球技系競技の一つでゲームパフォーマンス分析（スタッツ分析）が可能なハンドボールを対象に、試合中のゲームパフォーマンスと上気道感染症（いわゆる風邪）にかかるリスクとの関係を検討することを目的としています。
研究対象者	<p>【選定基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の体育会所属の球技系運動部の女性・食生活や生活習慣が似ている同運動部の寮生 ・所属運動部の活動に参加している者 <p>【除外基準】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師の指示により部活動への参加を中止されている者 ・医師の診断による疾患がある者・整形外科的な疼痛のある者
研究概要	<p>継続的に高強度運動を行うアスリートは、非アスリートと比べて上気道感染症（いわゆる風邪）への罹患リスクが高いことが知られています。近年、唾液中分泌型免疫グロブリンA：唾液中SIgA（ウイルス等の病原体の体内侵入を阻止する物質）が低下すると、上気道感染症の発症が増加することが明らかとなってきました。しかしながら、上気道感染症の発症を予測できる指標である唾液中SIgAの変動と実際の競技現場におけるパフォーマンスとの関係については明らかではありません。そこで、大学ハンドボールのリーグ戦期間中を対象に、試合中のゲームパフォーマンスと主観的および客観的コンディションを縦断的に検討します。本研究によって、当該シーズンにおける主観的および客観的なコンディション状態の変化とゲームパフォーマンスとの関係を明らかにすることで、より効果的なトレーニング（休養）戦略の計画に繋がることを期待されます。</p>
研究に用いる情報の種類	年齢、身長、体重、体脂肪量、除脂肪量、体脂肪率、唾液中分泌型免疫グロブリンA、主観的コンディション、上気道感染症症状、月経状況、主観的運動強度、日本語版POMS2短縮版（総合的気分状態）、試合分析データ（オンコートプレー時間、シュート本数、ドリブル回数、パス回数）
研究の資金源 研究に係る利益相反及び 個人の収益	<p>○本研究の資金源は、JISS内予算です。</p> <p>○本研究に係る利益相反や個人の収益はありません</p>
研究責任者	曾根良太・スポーツ研究部
研究分担者	<p>清水和弘・スポーツ研究部</p> <p>中村真理子・スポーツ科学部</p> <p>大石健二・日本体育大学</p> <p>辻昇一・日本体育大学</p>
問合せ先	<p>曾根良太・スポーツ研究部</p> <p>電話：03-5963-0231</p> <p>E-mail：ryota.sone@jpnsport.go.jp</p>